



各 位

平成 2 2 年 4 月 2 2 日

会社名 石塚硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 山中 昭廣
(コード番号 5 2 0 4 東証・名証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 小栗 信夫
電話番号 0 5 8 7 - 3 7 - 2 1 1 1

新「中期経営計画」策定に関するお知らせ

当社グループは、平成 2 3 年 3 月期（第 7 6 期）から、平成 2 5 年 3 月期（第 7 8 期）までの 3 ヶ年を対象とする中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 名称

『石塚硝子グループ中期経営計画』（ISHIZUKAイノベーション 7 8）

“当社グループの 5 年～ 1 0 年先を見据え、根本的な変革に果敢に挑戦し勝ち残る”
という意思表示を明確にすべくネーミングいたしました。

2. 社是・経営理念

社是 『 誠実 努力 創造 』
経営理念

- (1) “ 信用第一 ” に心がけ、グループ企業内外の信頼を得る。
- (2) “ 企業は人なり ” の理念で、人材の育成に努める。
- (3) “ 最高の品質 ” を求め、絶えず新技術を開発する。
- (4) “ 革新と創造 ” に満ちた持続的な発展を続け、社会に貢献する。

3. 基本コンセプト・基本方針

基本コンセプト 『 経営基盤の強化 』

基本方針

- (1) 個々の事業基盤の強化
各事業部門が、それぞれ顧客インに徹した事業活動を展開すべく業務運営を見直すと共に、効率化を追求し掲げた業績目標を達成します。
- (2) 有利子負債の削減
全ての判断軸をキャッシュ・フローに置き、業績確保・棚卸資産圧縮・設備投資の選別を三本柱として有利子負債を削減し財務体質を強化します。
- (3) 現場力の強化 = 『 人財 』 の育成
前向きなコミュニケーションの徹底をベースに小集団活動や創意工夫提案制度、技術・技能を伝承するための指導員体制や技能訓練制度を充実し、品質のつくり込みと向上を図ってまいります。

(4) グループ力の強化

それぞれの事業の目標達成のためのバックアップ機能を強化することを目的として、石塚硝子本社機能の役割を見直し、グループ管理体制を整備・構築するなどグループ力を高めます。

4. スローガン

『自分が変われば、会社が変わる！！』

“当社グループの変革を担うのは私たち社員自身である”ことを確認し合う為にネーミングいたしました。

5. 各事業の使命

【ガラス容器関連事業】

・ガラスびん

当社の基盤事業です。勝ち残るために「真の顧客イン」を徹底し、多品種小ロット生産体制を確立して在庫圧縮・コスト削減を実現します。

・ハウスウエア（ガラス食器）

国内市場の縮小に対応する構造改革・体質改革を行い、魅力ある商品の開発力とコスト競争力を高め、また初の海外生産拠点である中国工場を立ち上げ、国際競争に勝ち残れる事業体制を目指します。

【他素材容器関連事業】

・ペットボトル・プリフォーム

ガラスびんに続く当社グループ第二の柱として、将来のコア事業を目指します。外部環境変化へ果敢に対応し、事業の維持・拡大を図ります。

・ペーパーパッケージ（紙容器）

当社グループ第三の中核事業として、確固たる事業基盤を築きます。

・プラスチック容器

新規市場の開発と拡販に対応できるローコスト生産体制の構築により当社グループに貢献します。

・キャップ

既存市場の深耕、新技術・新商品の開発により、着実な進展を図ります。

【その他事業】

・エンジニアリング

既存技術をさらに磨きあげ、各事業への技術支援を通じてグループ全体の品質・生産性の向上に貢献します。

・ニューガラス

抗菌剤・高強度ガラス等の新規製品を開発・事業化するとともに、販売先の再構築を行います。

6. 最終年度（第78期・平成25年3月期）に目指す業績目標（連結）

項目	業績目標	第75期実績（参考）
売上高（億円）	560	540
経常利益（億円）	17.0	10.9
経常利益率（%）	3.0	2.0

以上